

<目次>

●市民不在の臨港部橋梁建設に巨額の市財政追加は許せません

■子どもたちと先生を守ろう～教育署名を8月からスタートします～

▲ お知らせコーナー

☆8/21迄、川崎市平和館原爆展「長崎の原爆」

☆8/10なんてんの会 定例街頭宣伝

☆8/27ゆめシネマ「スズさん」戦中戦後を生きた大田区の主婦のくらし

☆9/4西加瀬プロジェクトを考える会

★ 編集後記

●市民不在の臨港部橋梁建設に巨額の市財政追加は許せません

福田市長は、臨港道路事業に巨額の市財政を追加投入することを発表しました。

国の関東地方整備局は、7月25日に、2つの埋め立て地をつなぐ臨港道路東扇島水江町線の整備費として、495億円の増額を「関東地方整備局事業評価監視委員会」が「了承した」として決定しました。

事業は平成21年度～令和5年度の工期で進められていますが、杜撰な工事計画により、増額は2回目で総事業費は1475億円となりました。

そのうち川崎市費負担は3分の1で、今回165億円増となり、総額約491億7千万円という大きな負担を背負うこととなります。

そもそもこの臨港道路は、当初、事業費540億円（市負担180億円）で計画されました。議会での論戦では、建設理由が、「コンテナ増への対応」→「東扇島労働者の避難路」→「海底トンネル渋滞対策」と次々に変わり、不要不急の計画であることは明らかになっています。

福田市長は、1度目の増額の際も議会には諮りませんでした。

今回も議会にも諮らず、7月28日の市議会環境委員会への報告で終わらせ、年度途中の予算の大幅変更を行ったのです。

この問題を放置すれば、次は資材費高騰等を理由に3度目の増額を強行することは目に見えています。

川崎市は国に対し、「事業費の増加は、本市にとって極めて重い負担となる。このため、事業期間の延長や事業費の増加は誠に遺憾」としながら「工期短縮やコスト削減を強く要

請する。」と推進意見を述べるだけで、国の言いなりです。

今、川崎市がとるべき道は、地方自治体として、市民の声、議会の審議に耳を傾け、1475億円（市負担分491億円）の公共事業の根本的な見直しを求める事ではないでしょうか。将来の人口減を理由に市民にとって必要な公共施設は作らないと宣言する一方で、巨額の橋梁建設を進める今回の決定は許せません。国に中止を求めていきましょう。

市民不在で進められている川崎港 東扇島～水江町地区臨港道路整備事業

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/keihin/business/kawasaki/>

今回発表された事業見直し計画

[https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000836027.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000836027.pdf)

## ■子どもたちと先生を守ろう～教育署名を8月からスタートします～

7月29日、「ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会」は、2022年度の夏から秋の教育大運動の方針を話しあい、決定しました。

コロナ禍の中で、川崎市の小学校の約24%、中学校の約64%が、一クラス36人以上の過密学級で学んでいます。

コロナの感染拡大が繰り返される今、子どもたちが一番長い時間を過ごす教室が「密」な状態は一刻も早く解消しなければなりません。

一方で、先週のメルマガでお知らせしたように、「教師不足」が深刻な事態になっています。

4月には、20日間以上、48人もの先生が未配置のままスタートしました。これまでになかった異常事態です。

2021年4月市教委の調査では、約67%の教職員が、残業手当もつかず、45時間以上も時間外勤務をしていました。

48人も足りない状態でのスタートですから、さらに深刻化するでしょう。

このような状態を放置すれば、「学校崩壊の増加」が懸念されます。教員の増員と少人数学級の実現は緊急課題です。

「ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会」は、子どもと先生を守るために、川崎市に次の2つの要求実現のため、8月から10月まで署名運動を行います。

- 1, 30人以下学級をめざし、川崎市で当面36人以上の過密学級をなくすこと
- 2, 教職員の欠員をなくし、長時間労働を是正すること

この運動を盛り上げるために、8月28日（日）10時から川崎ゆめホールで「子どもたちと学校現場の今を語りあう」をテーマに「教育署名スタート集会」を開きます。

署名目標は11月末までに2万筆とし、12月市議会に提出し、採択をめざします。市民の声を聞く市議会、川崎市政にするために、みなさんのご協力をお願いします。

※なお、署名用紙とスタート集会チラシは、8月9日のメルマガと川崎民主市政をつくる会のホームページに掲載します。

### ★川崎市平和館原爆展「長崎の原爆」

7/23～8/21 9時～17時

会場：川崎市平和館

入場無料

☆なんてんの会 定例街頭宣伝

8/10 17時30分から18時半

川崎駅ラゾーナ通路にて

国葬、政治と旧統一教会、野党共闘など参加者が自由に意見表明。

### ★ゆめシネマ「スズさん」戦中戦後を生きた大田区の主婦のくらし

8/27 ①9時 ②11時 ③13時 ④17時 ⑤19時

③の後、監督によるアフタートークあり。

一般：1,000円 障がい者：500円 学生以下：200円

044-433-3003

yy.nannbusen@gmail.com

### ★仮称「西加瀬プロジェクト」を考える会

9/4 13時半より

会場：川崎市平和館屋内広場

### ★編集後記

「西加瀬プロジェクト」反対の署名活動が始まりました。

この巨大プロジェクトに依り、市内を南北に貫く尻手黒川線と、それに交差する綱島街道の渋滞が極めて深刻な状況になることが予想されます。

その影響は、地元住民だけでなく、市内事業者の営業に大きな影響をもたらし、救急車や消防車など緊急車両の通行にも支障を来し、命にも関わります。

9月4日に、開催される集会には、地元住民だけでなく多くの市民の参加で成功させましょう。(Y)